

従組のなかまとともに世直しのたたかいを！

<第10回年金者部会総会>

年金者部会ニュース

滋賀銀行
従業員組合
年金者部会
TEL077-521-2775
FAX077-525-5232

滋賀銀行従業員組合・年金者部会は守山市において10月19日午後2時半より第10回総会を開催しました。総会には26名が参加し経過報告と新年度の取組、会計報告、役員改選などが承認されました。総会終了後滋賀銀行従業員組合との合同交流会が開催されました。

大会は寺田事務局長の司会ですすめられ、はじめに東日本大震災で犠牲になられた方々の冥福をお祈りし黙祷を捧げました。総会のはじめに和田部長は次のような挨拶を行いました。本日のご参加ご苦労様です。特に、久保田さんが湖北の仲間とともに参加してくれていることは喜びです。さて、今年の3月11日の



挨拶をされる和田部会長

東北大震災と福島原発事故により、私たちの仲間が尊い命を奪われ、多くの仲間が家族、親戚、家屋、家財を瞬時にして流されるという想像を絶する犠牲を払われました。私たち西部の仲間はみんなテレビから放映される画像を見て、「何かをしなければ・・・」と思われたことでしょうか。「とにかく何かを・・・」と「ちぎんの会」の西部の仲間は互いに連絡を取り合い・・・



励ましになれば」と募金を取り組み、連帯の熱い気持ちの一端でも伝わればと、東北三県の「ちぎんの会」の仲間へ送金をしました。詳しく寺田事務局長より報告されます。さて昔々の中国、晋の時代の話ですが、都を移すかどうかをめぐって論議され、長老たちが口をそろえて「新しい都は土地が肥え、塩も近くで取れる。国は富み、君主も安泰です」と言いました。しかし、重臣の一人が猛反対をしました。「国が豊かすぎると、民がわがままになり、ひいては君主も貧しくなります」といいました。国利（国益）と人民の幸福は切っても切れない間柄なのでしょう。先週、日本経団連の米倉会長が言いました。「早く、T P P 交渉



挨拶をされる中島委員長

次の中島従組委員長が挨拶を行い「東日本大震災支援など地銀連の連帯は嬉しい。年金組合の彦根支部が彦根市議

地銀連の連帯は嬉しい

「早く、T P P 交渉への参加を決めて欲しい。交渉の場で国益の確保を図るべきである」と。国益だなんてよく言うよ。震災の復興のため大企業が応分の税負担を求められると「ならば、海外に出る」「原発を動かさないと電力不足になるから海外にでる」人々の暮らしを壊すT P Pも「入らないなら海外にでる」一部の大企業の（社益）のために国を捨てるような脅かしをかけながら、「国益の確保」とは、馬鹿にするな！このような時に、私たちは私たちが出来ることで、従業員組合の仲間とともに世直しのたたかいを進めて行こうではありませんか！ちぎんの仲間との連帯のなかで頑張りましょう。

- <新年度役員>
- 部会長：和田一郎
 - 事務局長：谷 一明
 - 世話人
植木和美・倉見栄一
坂本幸男・田中紀美子
寺田源吾・古田雅二
三橋俊夫



閉会の挨拶をされる倉見世話人

会に年金者組合が提出し年金受給資格期間の短縮を求める請願が採択されました。みなさんの頑張りに敬意を表するとともに、単組の運動に、先輩方の力を貸していただきたい」と述べました。

元気で長生きをしよう

倉見世話人から閉会の挨拶で「元気に長生きをして頑張りましょう」と呼びかけられ、総会を閉じました。



滋賀県庁前で2ヵ月毎の年金支給日に「怒り座り込み」が行われています。
 10月14日に全国で「年金者一揆」の集会が取り組まれ滋賀県集会は、小雨が降るなか滋賀会館前で行われ、年金者組合や民主団体の約110人が参加し、滋賀銀行従業員組合・年金者部会からも地域の仲間と一緒に4人が参加して

**10・14年金者一揆に110人
 国民・高齢者いじめ許さない**

2011年・年金者一揆宣言

今日10月14日、全国で一万人の高齢者が、押さえきれぬ怒りをもって集まりました。

東日本大震災、福島原発事故では 多くの人が住み慣れたふるさとを追われました。

7ヵ月を経た今も 復旧は遅れ、大ぜいの人たちが、生活の見通しがたたないまま、不安な中で暮らしています。

必要な医療・介護を受けられない高齢者も 多くいます。

政府は、選別と切り捨ての「復興」ではなく 被災者の生活と生業を支援すべきです。

いま、無年金の高齢者は 約118万人。

年金額が低過ぎる人は、日々不安を抱えながら暮らしています。

若い世代も 長引く不況の中で仕事もなく、ぎりぎりの生活です。

ところが 国民の苦しみをよそに、民主党政府は、「税と社会保障一体改革」という名の下に、

さらなる増税と毎年の連続的な年金引き下げ、年金支給開始年齢の引き上げという重大な改悪に踏み出そうとしています。

医療費の窓口負担の上乗せ、病院・介護施設から 患者・利用者の追い出しなど、

年金・医療・介護などの全面的な改悪をしようとしています。

震災復興を口実にした庶民への大增税も 行おうとしています。

そして、さらに民主党政府は漁業や農業をはじめ国民全体の生活を悪化させるTPP(環太平洋経済連携協定)への参加も急いでいます。

私たちは、このような国民・高齢者いじめを断じて許しません。

全国津々浦々で、国民・高齢者のいのちと暮らしを守るため 一層運動を強めていくことを宣言します。

011年10月14日

年金者一揆滋賀県集会

集会に続き、参加者は、途中雨が激しく降り出しましたが、大津市内中心街を、元気にデモ行進しました。
 また、この集会では、左枠内の「2011年・年金者一揆宣言」を採択しました。



厚生労働省は、10月26日、社会保障審議会医療保険部会で、70〜74歳の患者負担を、現行の1割から2割に倍増する案を示しました。
 70〜74歳の患者負担については、順次2割負担へ引き上げ、5年かけて70〜74歳の全員を2割負担にする計画です。
 (「現役並み所得者」は現在も

**厚生労働省が
 70〜74歳の医療費
 窓口負担
 倍増案を出す!**

3割)。年金受給額の切り下げ、年金支給開始年齢の引き上げに続く「高齢者いじめ」です。

70〜74歳の自己負担割合の見直し

○ 70〜74歳の患者負担は、現行、2割負担と決定されている中で、毎年度、約2千億円の予算増により1割負担に削減している。

高齢者医療制度改革会議 最終とりまとめ(平成22年12月29日) 一揆
 「70歳に到達する方から段階的に本来の2割負担とする」
 「なお、患者負担に対しては、原則に法定の負担割合とすべきとの意見がある一方、受診回数等による負担割合の引き上げも検討されている」

※なお、70〜74歳の自己負担割合を1割負担で固定化すること、大場会の財政影響
 +2,000億円(国庫負担300億円、健保組合300億円、共済組合200億円、市町村国保300億円、公費900億円)

※ 現役並み所得者(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準)

※ 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準)

※ 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準) 国民健康保険料(標準)

(ワムネットホームページより)